

地域ぐるみで豊かな心を育む食農体験～小学校での米づくり体験学習～

- 西三河農協は、西尾市内の16小学校において、年間を通した米づくり体験学習(田植え、かかし作り、稲刈り、収穫祭)を実施している。
- 小学校、PTA・父兄の理解と協力をもとに、地域の水田オペレーターが各校専属の食育推進リーダーとなって、年間を通して児童に農業体験指導を行っている。
- 各校区の地域協力者、行政(西尾市食育推進会議、愛知県、東海農政局)等の支援により、多くの関係者と連携しながら取組を継続している。今後は、市内全小学校での実施を目指す。



【取組の内容】

総合的な学習の時間を活用し、市内16小学校の5年生1,065名が体験。

各校では工夫をこらし、泥リンピック、田んぼアート、感謝の会、郷土料理づくり(巻き寿司、箱寿司、五平餅など)、課題研究への応用などの特色ある取組を展開。

農協が調整役となり小学校と地域関係者が連携し、継続実施。

田植え



かかし作り



稲刈り



収穫祭



【取組の成果】

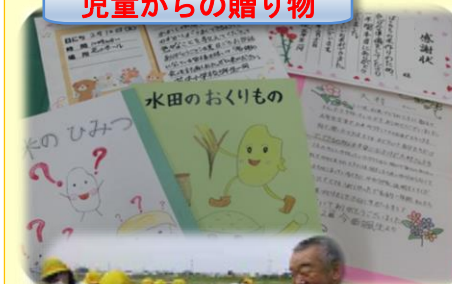
西尾市民にとって、小学校の米づくり体験学習は身近な日常行事として定着している。

農業指導者や地域住民にとっても、児童との交流は楽しみであり、大きな励みとなっている。

児童にとって地元の農産物や郷土料理への理解を深め、郷土への愛着を育む貴重な機会となっている。

年度末に関係者全員が集まり、意見交換会を開催し、感想を述べあい、市が一体となり継続できる体制が確立されている。

児童からの贈り物



泥リンピック



身近で当たり前
の光景として
定着

秋の農業祭り



指導者や地域協力者
にとっても、大きな
励みや楽しみに！